2026年9月4日　　第1.1版

情　報　公　開　文　書

研究の名称	C4低値IgG4関連疾患における抗C1q反応の分子基盤と補体値との関連の解析
研究代表機関	富山大学附属病院 研究代表者：富山大学学術研究部医学系　内科学第一講座　教授　加藤　将
既存試料・情報の提供のみを行う者が所属する機関の名称	札幌医科大学附属病院
既存試料・情報の提供のみを行う者（所属・職名および氏名）	札幌医科大学附属病院　免疫・リウマチ内科　講師　神田　真聡
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。 【研究の目的・方法】 IgG4関連疾患では、一部の患者さんで「補体」と呼ばれる血液中のたんぱく質が低下します。本研究では、補体成分C4が低いIgG4関連疾患の患者さんについて、診療の際に採取され保存されている血清を用います。 血清からIgGという抗体を取り出し、そのままのIgGと、抗原を認識する部分（Fab）およびそれ以外の部分（Fc）に分け、補体成分C1qへの反応を比較します。また、診療記録から補体値、免疫グロブリン値、腎臓の病変などの情報を調べ、C1qへの反応との関係を解析します。 札幌医科大学附属病院で保管されている試料・情報は研究用番号を付して富山大学附属病院へ提供し、血清は冷凍状態を維持して輸送します。 【研究期間】 実施許可日　～　2029年3月31日 【研究対象者】 札幌医科大学附属病院で診療を受け、IgG4関連疾患と診断された18歳以上の方のうち、保存血清を採取した時点またはその前後にC4が施設基準値未満で、本研究に必要な保存血清および診療情報が利用可能な方を対象とします。 既存試料・情報の取得対象期間は特に定めません。 【研究資金、利益相反の状況】 本研究には、富山大学内科学第一講座の医局・講座費、科研費等の競争的研究費を使用する予定です。本研究に関連する企業等はなく、申告すべき利益相反はありません。 【個人情報の取扱い】 研究に使用する試料・情報には研究用の識別番号を付け、氏名や診療録IDなど、個人を直接特定できる情報は研究用データと分けて管理します。富山大学附属病院へ提供する際も研究用識別番号を用い、研究関係者以外が個人を特定できないよう適切に管理します。 【研究結果の公表の方法】 研究成果は関連学会で発表し、最終的には医学雑誌への投稿を予定していま

	す。公表の際に個人が特定される情報を使用することはありません。 【試料・情報の他機関への提供有無】 有（国内のみ：富山大学附属病院へ提供）（ 【外国にある者への提供について】 該当なし
②利用又は提供する試料・情報の項目	【試料・情報の項目】 試料：診療時に採取され保存されている血清。 情報：年齢、性別、診断時期、病変のある臓器、腎病変の有無、治療内容、採血時の病勢に関する診療記録、血液検査（IgG、IgG1、IgG4、C3、C4、CH50、血清クレアチニン、eGFR）および尿検査（尿蛋白、尿潜血）の情報。
③利用又は提供を開始する予定日	【利用又は提供を開始する予定日】 本研究の実施許可日以降
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	札幌医科大学附属病院　病院長　渡辺　敦
⑤提供する試料・情報の取得の方法	通常の診療の過程で採取され、札幌医科大学附属病院に保存されている既存の血清を使用します。診療情報は診療録から取得します。本研究のためにIgG4関連疾患患者さんへ新たな採血や検査を行うことはありません。
⑥利用する者の範囲	富山大学附属病院　研究代表者：富山大学学術研究部医学系　内科学第一講座　教授　加藤　将 札幌医科大学附属病院は、既存試料・情報の提供のみを行います。
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	札幌医科大学附属病院　病院長　渡辺　敦
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究機関への提供も含む。）に対して、拒否を希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。 電話番号：011-611-2111（代表） FAX：011-611-7211 E-mail：mkanda@sapmed.ac.jp 担当者所属・氏名：札幌医科大学附属病院　免疫・リウマチ内科　神田　真聡